

様式 A-1
(FY2018)

平成 31 年 1 月 25 日

サイエンス・ダイアログ 実施報告書

1. 学校名・担当者氏名: 長野県屋代高等学校 手塚理実 長山耕己
2. 講師氏名: (Dr.) Christos TSIAMANTAS
3. 同行者氏名: 広瀬 久昭 様
4. 実施日時: 平成 31 年 1 月 22 日 (火) 13:40 ~ 15:10
5. 参加生徒: 2年生 34人、 3年生 1人、 4年生 1人 (合計 36人)
備考: (例:理数科の生徒) 理数科の生徒
6. 講義題目: ペプチドセレクションによる酵素ミミック創薬のための戦略
7. 講義概要: 講師の出身地であるギリシャでの科学の歴史からバイオテクノロジーの基礎へと導入された。タンパク質の機能の重要性とそれと強く結合するペプチドの可能性について説明された。最後に研究室で 1 兆種類のペプチドの網羅的作製法のお話。そしてそこから標的タンパク質に強く結合するペプチドのみを選別してくる手法について最先端の技術を紹介していただいた。
8. 使用言語: 英語
9. 講義形式:
 - (1) 講義時間 85 分 質疑応答時間 5 分
 - (2) 講義方法 (例: プロジェクター使用による講義、実験・実習の有無など)
プロジェクター使用による講義
 - (3) 通訳 (例: 同行者によるサポート、外国人研究者本人による日本語説明)
同行者によるサポート
 - (4) 事前学習時使用教材(事前学習を行った場合のみ)
要約(英語と日本語)を数週間前に配布し、学習しておくように促した。
10. その他特筆すべき事項:
特にありません。このような機会を無料で提供していただけることは誠に有り難いことです。